

発信！地域自慢④
南浜地区連合町内会

我らの宝、種差海岸

～国立公園指定で魅力アップ！～

問市民連携推進課 43・9182 FAX 47・1485

毎年開催されている「種差海岸観光まつり」の概要と種差海岸と町内会との関わりについて、同まつり実行委員会会長であり、南浜地区連合町内会長の岩館光藏氏にお話をうかがいました。



南浜地区連合町内会
いわだてみつぞう
岩館光藏会長

を招いたブースでの三陸のPR、郷土芸能の披露、前夜祭の開催、花火打ち上げなどを予定しています。

○開催のきっかけと苦労したことは？

昭和39年から種差海岸のPRのために開催されていましたが、連合町内会が中心となって婦人会など32団体で実行委員会を組織し、主催するようになったのは平成22年からです。毎年10月から準備を始めますが、今年は規模が大きいので、例年の倍以上の話し合いを重ねています。企画内容はもちろん、シャトルバスの運行など、細部まで気を配ってがんばっています。

○7/14(日)開催！

まつりの見どころは？

今年は50回記念と国立公園指定ということで、「三陸復興国立公園指定記念イベント」として盛大に開催する予定です。鎮魂と復興、三陸沿岸地域との交流を目的に、今までにない久慈市と宮古市の観光関係者

○町内会の想いがつまつた種差海岸

東日本大震災を契機に海拔標識の設置計画や各町内会での自主防災組織の立ち上げが徐々に進んでいます。また、災害時の観光客への迅速な対応のために、連合町内会としての自主防災組織化も進めていきたいと思っています。

これまで町内会ボランティアで白浜海岸や公衆トイレの清掃をしてきましたが、国立公園指定で訪れる多くの観光客に喜ばれるよう、これからも景観の維持に気を配っていきます。

昨年のまつりのようす



乗馬体験



よさこいソーラン